

令和7年度宇治市部活動地域展開に係る実践研究事業（宇治市地域クラブ）のまとめ

宇治市部活動地域移行検討委員会事務局

I. 令和7年度実践研究事業（宇治市地域クラブ）の概要について

○参加状況について

- ・東宇治中学校女子ソフトテニス部 25名（部員数28名）
- ・黄檗中学校女子ソフトテニス部 15名（部員数15名）
- ・指導者 4名

○第1回

実施日	9月23日（火）9:00～12:00
会場	黄檗中学校
生徒参加人数	東宇治中18名、黄檗中13名 計31名
指導者参加人数	4名
事務局参加人数	5名（うち女性1名）

○第2回

実施日	11月22日（土）9:00～12:00
会場	東山テニスコート（④・⑤コート）
生徒参加人数	東宇治中21名、黄檗中10名 計31名
指導者参加人数	4名
事務局参加人数	3名（うち女性1名）

○第3回

実施日	11月29日（土）9:00～12:00
会場	東宇治中学校
生徒参加人数	東宇治中21名、黄檗中12名 計33名
指導者参加人数	4名
事務局参加人数	2名（うち女性1名）

○第4回（宇治市部活動地域移行検討委員会による視察）

実施日	12月6日（土）9:00～12:00
会場	太陽が丘テニスコート（⑬・⑭コート）
生徒参加人数	東宇治中22名、黄檗中11名 計33名
指導者参加人数	4名
事務局参加人数	4名（うち女性1名）

○第5回

実施日	12月13日（土）9:00～12:00
会場	太陽が丘テニスコート（⑮・⑯コート）
生徒参加人数	東宇治中19名、黄檗中8名 計27名
指導者参加人数	4名
事務局参加人数	3名（うち女性1名）

2. 令和7年度実践研究事業（宇治市地域クラブ）に係る生徒・保護者アンケート結果の特徴

○活動に参加したきっかけ、参加理由について

【生徒】

- ・活動に参加したきっかけについて、「自分の意志で」という回答が最も多かった。
- ・活動の参加理由について、生徒アンケートでは「専門的な指導が受けられると思ったから」「顧問の先生以外の地域の方に指導が受けられるから」「同じ部活動の生徒が参加するから」という回答が多かった。
- ・活動に参加を申し込まなかった理由について「家庭の都合等があったから」という回答が多かった。

【保護者】

- ・お子様が活動に参加したきっかけについて、「子どもの意志で」という回答が最も多かった。
- ・お子様が活動に参加した理由について、「参加費用が無料だったから」「子どもと同じ部活動の生徒が参加するから」「専門的な指導が受けられると思ったから」という回答が多かった。

○活動の満足度について

【生徒】

- ・活動の満足度について、「満足」「やや満足」と回答した生徒が約7%であった。
- ・「満足」「やや満足」の理由について、「専門的な指導が受けられたから」「楽しく活動できたから」「顧問の先生以外の地域の方の指導が受けられたから」「指導者が親しみやすかったから」という回答が多かった。

【保護者】

- ・活動の満足度について、「満足」「やや満足」と回答した保護者が約3%であった。
- ・「満足」「やや満足」の理由について、「子どもが楽しく活動できたから」「参加費用が無料だったから」「子どもが同じ部活動の生徒と一緒に活動できたから」という回答が多かった。
- ・「やや不満」「不満」の理由について、「学校以外の市内施設で活動しなければならなかったから」という回答が多かった。

○活動に安心して参加できたか

【生徒】

- ・活動に安心して参加できたかについて「安心して参加できた」「どちらかと言えば安心して参加できた」と回答した生徒が約5%であった。
- ・「安心して参加できた」「どちらかと言えば安心して参加できた」の理由について、「指導者の指導が丁寧だったから」「地域の指導者が信頼できたから」という回答が多かった。

【保護者】

- ・活動にお子様を安心して参加させることができたかについて「安心して参加させることができた」「どちらかと言えば安心して参加させることができた」と回答した保護者が約2%であった。
- ・「安心して参加できた」「どちらかと言えば安心して参加できた」の理由について、「マチコミメールで地域クラブ活動についての連絡があったから」「子どもと同じ部活動の友達が参加していたから」という回答が多かった。

○活動に参加する際の移動手段について

【生徒】

- ・活動に参加する際の移動手段としては「保護者による送迎」という回答が最も多く、自転車を使用した生徒は少なかった。
- ・移動手段の満足度について、「満足」「やや満足」と「やや不満」「不満」と回答した割合は同じであった。「満足」「やや満足」の理由について、「安心・安全に移動できたから」「保護者による送迎があったから」という回答が多かった一方で、「やや不満」「不満」の理由について「活動場所への移動の負担が大きかったから」という回答が多かった。

【保護者】

- ・移動手段の満足度について「満足」「やや満足」と回答した保護者が約63%、「やや不満」「不満」と回答した保護者が約38%であった。
- ・「満足」「やや満足」の理由について、「保護者による送迎ができたから」という回答が多かった一方で、「やや不満」「不満」の理由について、「保護者による送迎が負担だったから」という回答が多かった。

○その他

【生徒】

- ・今後、同様の地域クラブ活動への参加について「参加したい」「どちらかと言えば参加したい」と回答した生徒は85%であった。
- ・今後地域クラブをさらにより良くしていくために必要だと思うことについて「楽しく活動に参加できるようにすること」「より専門的な指導が受けられること」という回答が多かった。

【保護者】

- ・今後、同様の地域クラブ活動へのお子様の参加について「参加させたい」「どちらかと言えば参加させたい」と回答した保護者は83%であった。
- ・今後地域クラブをさらにより良くしていくために必要だと思うことについて「子どもが楽しく活動に参加できるようにすること」「より専門的な指導が受けられること」という回答が多かった。

3. 令和7年度実践研究事業（宇治市地域クラブ）に係る宇治市部活動地域移行検討委員会事務局の運営業務及び当日の実施業務について

○運営業務について

対象	内容
生徒・保護者	<ul style="list-style-type: none">・地域クラブ活動のしおりの作成・生徒、保護者向け説明会の実施・参加生徒の募集・参加生徒の配慮事項の把握・保護者緊急連絡先の把握・スポーツ安全保険加入手続き・連絡ツールの選定及び保護者の登録手続き・生徒の怪我等緊急の場合の対応確認・生徒、保護者アンケートの実施
学校	<ul style="list-style-type: none">・実施スケジュールの調整・当日の使用備品等についての打ち合わせ・鍵の開錠、施錠等の確認・生徒向けアンケートの実施及び保護者向けアンケートの案内配付依頼
指導者	<ul style="list-style-type: none">・指導者の選定、依頼・活動内容についての打ち合わせ・運動部指導ハンドブックを用いた指導に係る内容の確認
その他	<ul style="list-style-type: none">・実施会場の確保・ボール、救急セット、WBGT測定器、携帯電話等活動当日の備品の用意・指導者の報酬や会場使用料、備品購入等の会計業務

○当日の実施業務について

- ・連絡ツールを用いた保護者への活動連絡
- ・生徒の遅刻・欠席や体調不良の場合等の保護者連絡
- ・活動当日の見守りや怪我の場合の応急処置
- ・生徒の怪我等の事態に備えた公用車の準備

○運営業務及び当日の実施業務を踏まえた課題について

- ・地域クラブ活動における運営団体、実施主体の整備
- ・運営団体、実施主体における運営業務及び当日の実施業務の役割分担
- ・指導者の確保、育成
- ・活動場所の確保
- ・地域クラブ活動の運営団体、実施主体による生徒が所属する中学校等との連携

4. 令和7年度実践研究事業（宇治市地域クラブ）の成果と今後に向けて

今年度の実践研究事業の目的

- ・生徒が安全・安心に取り組める体制の構築
- ・既存の部活動の良さを生かした形での地域クラブ活動の運営モデルの検討
- ・学校管理下外の新たな運営団体のシステム構築

①生徒が安全・安心に取り組める体制の構築について

成果

- ・今年度の活動について生徒及び保護者向けに各校ごとに事前説明会を実施することで、今年度の活動の目的や計画、実施要項等を周知することができた。
- ・連絡ツールを用いて生徒の参加状況を事務局が正確に把握することで、欠席連絡がなかった場合は事務局が保護者に個別に連絡を行うことができた。
- ・連絡ツールを用いて活動前日、活動開始、活動終了の連絡を行い、保護者に集合状況や解散時刻等を知らせることができた。保護者アンケートの結果からも、連絡ツールを用いた活動に係る連絡が保護者の安心につながることが分かった。
- ・救急バッグや公用車、WBGT測定器の準備、AED設置場所の確認など、生徒の怪我や熱中症をはじめとした事態に対応できる体制構築について検証を行うことができた。
- ・事務局の女性職員が活動の見守りを行うなど、女子生徒への対応を想定した検証を行うことができた。

今後に向けて

- ・今年度の活動では生徒の自転車の使用率が低いことが分かった。活動に参加する際の、自転車をはじめとした生徒の安全な移動手段について、来年度以降も検証を行う必要がある。
- ・今年度の活動の中で、事務局が生徒の安全・安心に取り組める体制づくりの検証を行えた一方で、今後新たな運営団体や実施団体が活動を行うことを想定した場合、持続可能な形でどのように生徒の安全・安心な体制を整えていくのか来年度以降も検討を行う必要がある。
- ・怪我や事故等の事態が起こった場合の地域クラブ活動の指導者、運営団体等の法的な責任の所在について、今後検討・整理を行っていく必要がある。

②既存の部活動の良さを生かした形での地域クラブ活動の運営モデルの検討について

成果

- ・合同練習等の素地がある部活動を対象に活動を行ったことで、参加生徒は他校の生徒ともスムーズに練習に取り組むことができた。参加生徒からは「他校の生徒と練習できてよかったです」との声もあった。
- ・部活動指導員の方が指導者として参加したことで、生徒と円滑なコミュニケーションを図ることができた。生徒アンケートでも指導について肯定的な回答が多く、活動における生徒と指導者との信頼関係構築の重要性が再認識できた。
- ・既存の部活動内で生徒のつながりがあったことから、活動の中で生徒が協力して楽しみながら活動を行う姿が見られ、生徒アンケートでも活動の満足度の理由として「楽しく活動できたから」と回答する生徒が多かった。

今後に向けて

- ・既存の部活動と並行して活動を行ったため、対象校とのスケジュール調整が難しい場合があり、実施日の調整を来年度以降も継続して行う必要がある。
- ・指導内容について、生徒からは「より専門的な指導を受けられて良かった」との声があった。今後部活動指導員等の経験がない地域人材が指導者となる場合も想定し、指導者の研修制度等について来年度以降も検討を行う必要がある。

③学校管理下外の新たな運営団体のシステム構築

成果

- ・活動に参加する生徒の緊急連絡先等を事務局が把握することで、学校を介さず、事務局から保護者へ連絡を行うことができた。
- ・生徒からは「学校とはちがうコートで練習できたことが良かった」との声もあり、学校管理下の部活動とは異なる環境での練習の機会を創出できた。
- ・学校のコートを使用する際に備え、学校と鍵の開錠や施錠等について確認を行うことで、学校施設を使用することを想定した活動を行うことができた。

今後に向けて

- ・テニスコートやネットなど学校施設や備品の使用に係る内容を学校に頼ってしまった部分があつた。今後、施設の利用方法や備品の使用についての手続きを明確化する必要がある。
- ・アンケートの結果から、練習場所について移動の負担を感じている生徒・保護者が多かった。今後学校外の施設を利用する際の生徒・保護者の移動の負担について検討を行う必要がある。
- ・今年度事務局が行った運営業務及び当日の実施業務を踏まえ、新たな運営団体が運営を担う場合を想定し、新たな運営団体に求められる業務の整理や同様のシステムを運用できる仕組みづくりについて検討を進める必要がある。

5. 来年度の実践研究事業（宇治市地域クラブ）に向けて

今年度の実践研究事業（宇治市地域クラブ）では、生徒・保護者から「生徒が安全・安心に取り組める地域クラブ活動の体制」について肯定的な意見が多く、事務局でも既存の部活動の良さを生かした運営モデルや学校管理下外の新たな運営団体のシステムの構築等、今年度の目的について検証を行うことができた。一方で、運営業務及び当日の実施業務に係る課題や生徒の移動手段、地域クラブ活動の運営団体が持続可能な形で運営を行うシステム等について、来年度以降も引き続き検討を行う必要がある。

来年度以降については、学校や地域によって部活動の現状が異なる部分があることを踏まえ、今年度の成果を生かし、生徒が安全・安心に地域クラブ活動でスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実していくよう実践研究事業（宇治市地域クラブ）による検証を継続して行い、宇治市に合った学校部活動の地域展開の在り方についてさらに検討を進める。